

札幌社保協 FAXニュース

2011年11月5日(土)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者医療110番は、
11月24日(木)です

「要支援」の人を介護サービスからはずせる「総合事業」は次期導入しない 札幌市 保険料設定はさらに多段階に

10/28に開かれた札幌市の介護保険事業計画推進委員会(4期)では、次期計画(2012~14年)の中間報告案(総論)等と、焦点となっていた「介護予防・日常生活支援総合事業」や「保険料設定」などについて議論されました。

次期計画では「総合事業」導入は行わない

私達が「要支援」と認定された人たちの保険サービスはずしにつながる、と反対している「総合事業」を導入しないことの市の提案理由は、①現状では国からの「参考となる手引き」等の詳細が示されていない中で、詳細な検討を行うことができない、②要支援認定者に対して大きな影響を与える制度変更であることから、様々な調査を踏まえ、しっかりと時間をかけて、慎重に検討すべきと考える、と極めて妥当なものです。

ただしこれは次期3年間だけで、2015年以降については検討を進めるといふもの。委員の中にはメリットもあるので早く導入してほしい、今回は仕方がないが導入も検討してほしい、等の意見も出されました。

介護保険料—基準額は提示されず、区分設定は多段階に

介護保険料の基準額は提示されず、保険料の区分設定が多くなっています。現行は7段階の区分で第4(基準保険料)と第5に軽減措置を設けた7+2段階ですが、次期の案はさらに第3段階に軽減を設け8段階を新設する、8+3段階の設定です。これは一定評価できる内容です。

次期保険料額は上がるのかどうか、市の準備基金は使うのかという質問には、額の提示は1月以降になる、準備基金は2010年末で49億円だが11年度末で32億円となる予定、保険料に使うかどうかは検討中とのことです(市議会では質問に対し、保険料のために基金を使う方向と回答している)。

特別養護老人ホームは4年間で1018人分増

次期特養の3年間の整備計画は9カ所720人定員増となっているが、市長の1000人増の公約はどうなっているか?の質問では、2011年度298人増で4年間で1018人増になるとの回答でした。



障害児・者在宅支援、介護の市議会陳情趣旨説明—傍聴に集まろう:

11月22日(火)13時~ 市役所18階第2特別委員会室

【集合】傍聴に来られる方は→当日12:45までに市役所1階ロビーへ集まってください

1. 「重症心身障がい児・者の在宅生活の改善を求める陳情」~重症心身障がい児・者の在宅支援に取り組む会が提出しています。
2. 「介護保険の充実を求める陳情」~札幌社保協が提出しています。

続けて2つの陳情が審査されます。「在宅支援に取り組む会」の陳情者は、勤医協札幌病院の辰巳医師、花香医師を予定。介護は勤医協在宅のケアマネジャーで検討中です。

今こそ社会保障の拡充を! 学習決起集会

11月11日(金)18:30~ 道社保協主催
札幌エルプラザホール(札幌駅北口) 参加費:500円
講演:社会保障をめぐる情勢とたかひの展望
井上 久 中央社保協代表委員・全労連事務局次長

市民シンポジウム—介護の明日を考える

11月19日(土)18時~20時
共済ホール(中央区北4西1共済ビル6階)
参加費:500円

基調講演

「認知症と長寿社会—笑顔のままに」
信濃毎日新聞記者:園田 清佳さん